

本紙を必ず施主様にお渡し下さい

Only One

グレース

取扱説明書

※本書は商品の取り扱いについて説明したものです。
紛失されないよう、大切に保管してください。

Ver. 1

G18

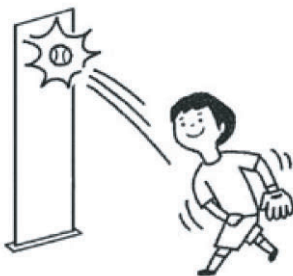
- このたびは、当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
- 商品を安全にお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読みの上、大切に保管して下さい。

① 使用上のご注意

- 商品本体にぶら下がったり、寄り掛かったり、登ったりしないで下さい。
部品が変形、破損したり、転落して重大な人身事故が発生する恐れがあります。



- ガラスにボールや石をぶつけるなど、強い衝撃を与えないで下さい。
ガラスが割れる可能性があります。



- 降雨時及び凍結時には、足を滑らせてガラスに衝突しないように十分注意してください。



- 設置場所により、夜間はガラスが見えにくくなる事があります。
ガラスに衝突しないように十分注意して下さい。



② お手入れ方法について

- 水を含ませたスポンジや布、ガラス専用モップ等を使用し、ガラスの汚れを拭き取って下さい。
ブラシなど硬いものを使用すると、ガラスに傷が付く恐れがあります。

ステンレス製品のお手入れ方法

※本書は商品の取り扱いについて説明したものです。
紛失されないよう、大切に保管してください。

Ver. 1

Z05

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本製品を正しく御理解いただくために、この説明書をよくお読みください。

■ステンレスに関して

『ステンレスは、絶対に錆びないのではなく、錆びにくい金属です。』

ステンレス表面は、クロムと酸素が結合してできる薄い酸化皮膜で保護されています。

仮に表面に傷が付いても空気中の酸素がクロムと結合し、すぐに酸化皮膜を再生します。

しかし、長期間お掃除しないままにしておくと、ステンレス表面に付着した埃・煤・塵・鉄粉が酸化皮膜の再生を妨害し、錆の原因となります。

■お手入れ方法

ステンレス製品をいつまでも美しく保つためには、定期的なメンテナンスが必要です。

メンテナンスの目安は、少なくとも半年に1~2回程度です。特に沿岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚染が進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

●軽度の汚れやしみ

中性洗剤や石鹼水を布やスポンジに含ませ、その後水洗いや水拭きをして、最後に乾いた布で仕上げをしてください。



●初期の錆（もらい錆程度）

中性洗剤や石鹼水を布やスポンジに含ませふき取ってください。

きれいに除去できない場合は、市販のナイロンたわし（推奨；住友スリーエム製 スコッチ・ブライト・ナイロンたわし）等でステンレスの研磨目にそって均一に力を入れ、こすり落としてください。その後十分な水洗いをして、最後に乾いた布で拭いてください。

●赤錆

市販のステンレス清掃薬剤（推奨；カンペハピオ製 復活洗浄剤 ステンレス用）等で、ステンレスの研磨目にそって均一に力を入れ、こすり落としてください。その後十分な水洗いをして、最後に乾いた布で拭いてください。

⚠ 注意

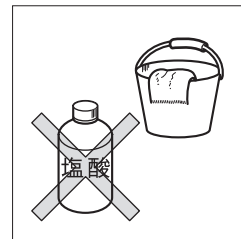
- いずれの場合も、必ず十分に水拭きをして、最後に乾いた布で拭いてください。
- 事前に目立たない部位でテスト洗浄を行い、異常がない事を確認してください。
- スポンジやナイロンたわしなどを使用する場合は、必ずステンレスの研磨目にそって均一に力を入れてください。
- 表札のネーム部等、研磨による剥離や薬剤による不具合が予測される部位には、養生を行ってください。

この度は本商品をお買い上げいただきありがとうございます。末永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき正しい施工をお願いします。なお、商品到着後は、すみやかに検品をお願いいたします。本体に傷、付属品の不備などがございましたら、商品到着後10日以内にご連絡ください。

⚠️ 施工上のご注意

- 商品に傷をつけないようご注意ください。
(傷は錆びの原因となりますのでタッチアップ塗料等で必ず補修を行ってください。)
- 傷などの補修方法はお問い合わせください。
- 取付場所が通行のさまたげにならないか、十分に確認してください。
- 本体に、ホース等で直接水をかけないでください。
- 商品の施工に関しては必ず「施工要領書」に従ってください。
- むやみに改造・変更をしないでください。

- ねじなどのゆるみがあるかどうか確認し、ゆるんでいる場合はしめてください。
- 商品の塗装表面には、直接養生テープを貼り付けしないで下さい。塗装剥がれの原因となります。
- 商品に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃してください。
- 施工時の汚れ落としは、中性洗剤をご使用ください。シンナー、塩酸などを使用すると、腐食の原因になります。



① 取付上のご注意

- 車の往来が激しい道路や砂利道に面した場所、砂利敷きの場所への設置は避けて下さい。石が跳ねてガラスが割れる可能性があります。
- 降雨及び凍結時に足を滑らせ、転倒や衝突によって思わぬ事故につながる恐れがありますので、通路付近への設置は避けて下さい。
- ガラス本体は落下や衝撃で割れる場合がありますので、取付けの際の取扱いには十分注意して下さい。

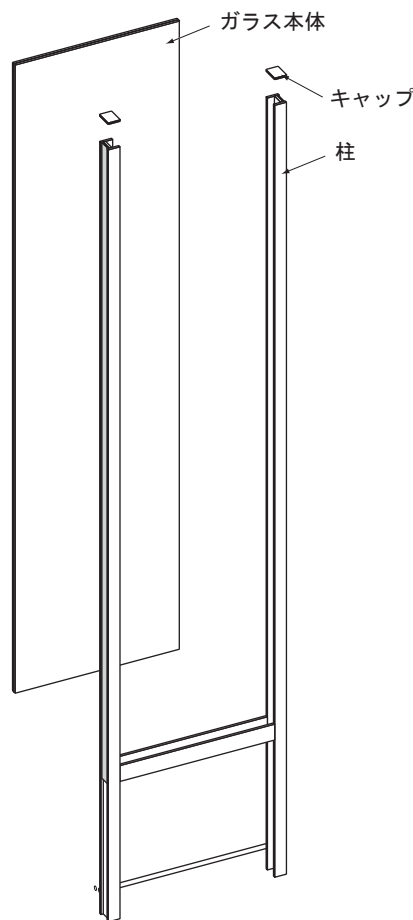
② 梱包内容

No	名称	数量	単位
1	柱	1	台
2	ガラス本体	1	枚
3	キャップ	2	枚
4	バックアップ材(長)	4	本
5	バックアップ材(短)	2	本

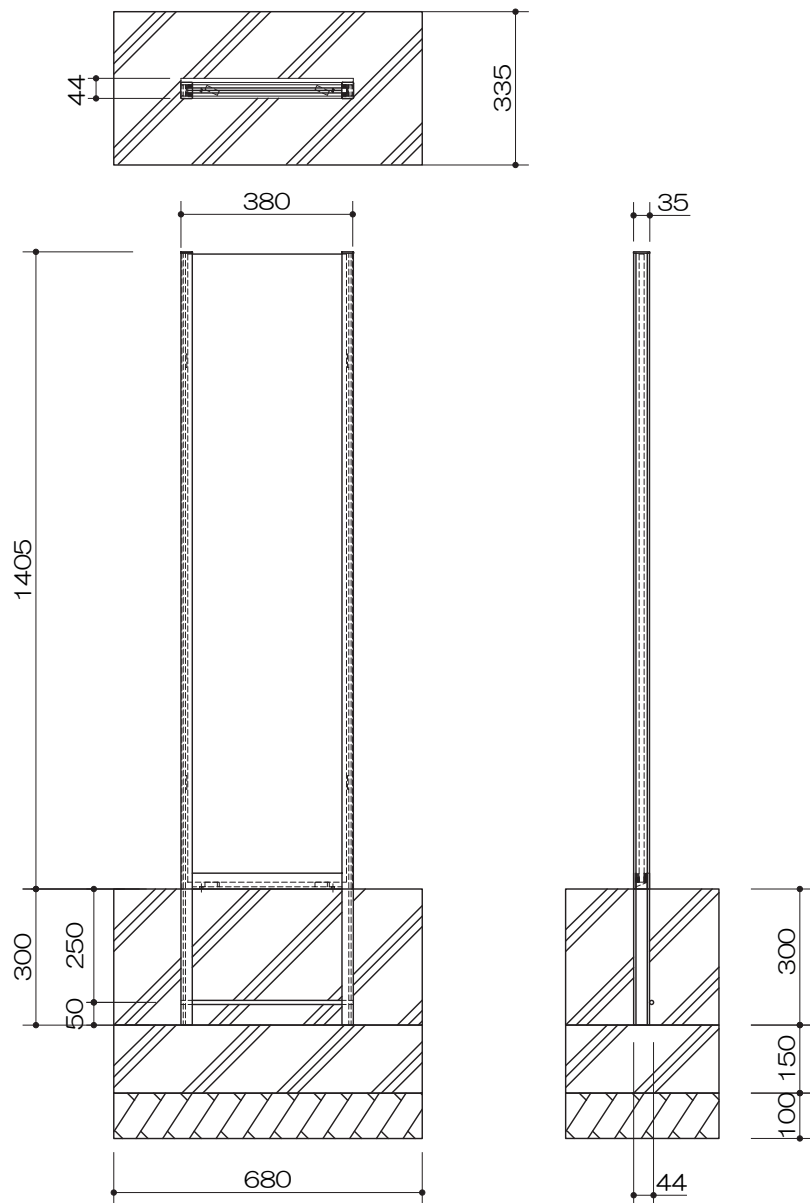
- 開梱時、必要な部品が揃っているか確認して下さい。
- 商品に破損や異常がないか確認して下さい。

※ 現地にて手配して頂くもの

- シーリング材(下記指定のものをご使用ください。
セメダイン(株)-シリコーン系 8060プロ
カラー; ニューグレー
- 養生テープ
- 接着剤



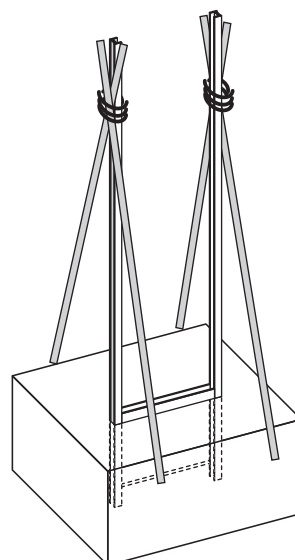
③ 商品基本寸法図



④ 取付手順

■柱の固定

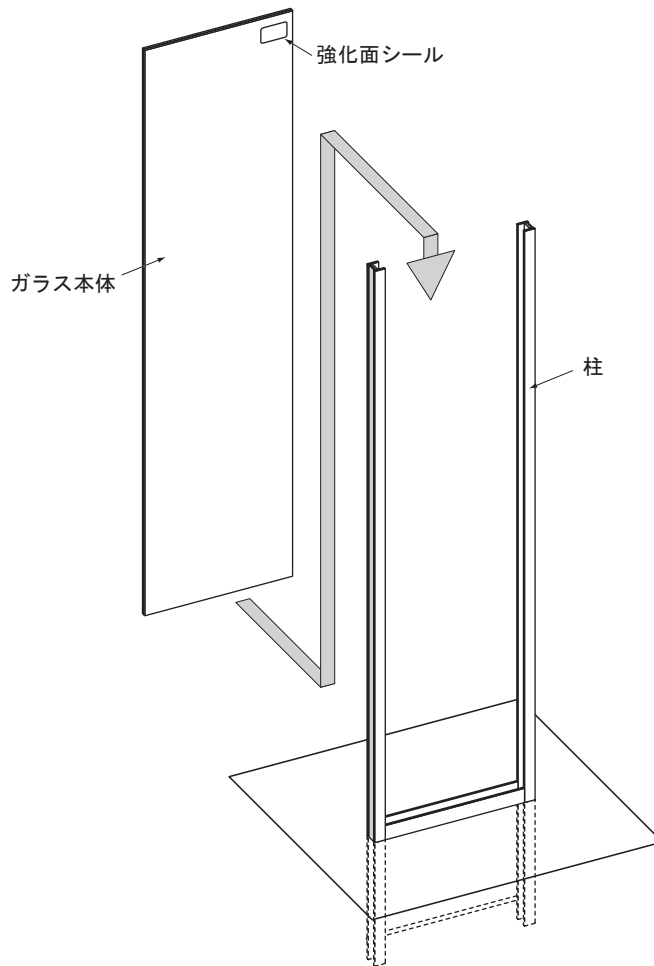
柱をコンクリートモルタルで固定します。
柱を支え棒などで自立させ、垂直・水平を確認してから
コンクリートを打ってください。



■ガラスの取付

①ガラスの設置

ガラスの取扱いに十分ご注意の上、下図の様に上からガラスを嵌め込みます。

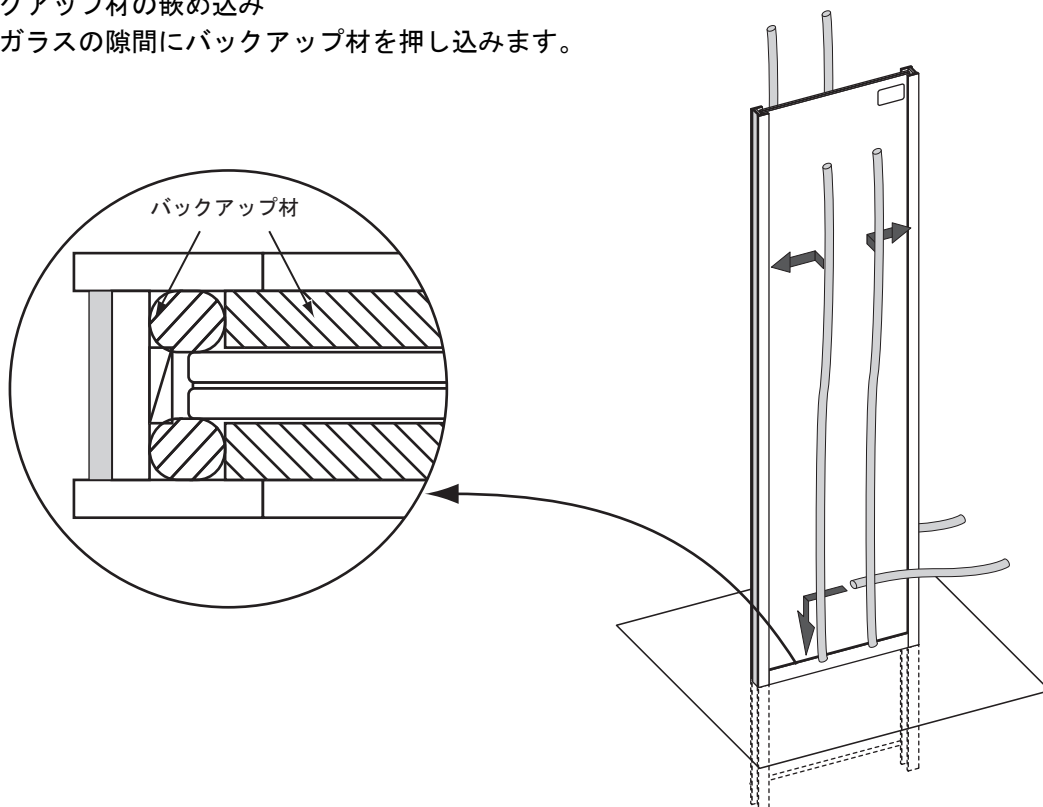


⚠ 注意

必ず強化面が道路側になるように嵌め込んで下さい。

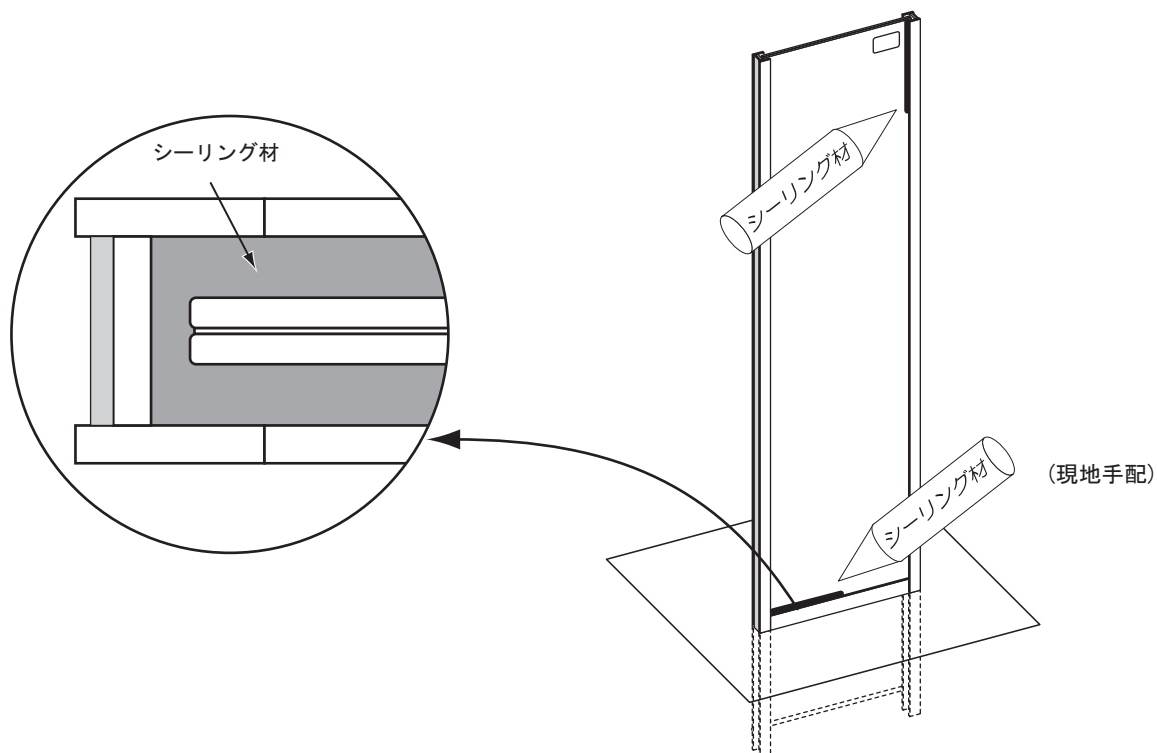
②バックアップ材の嵌め込み

柱とガラスの隙間にバックアップ材を押し込みます。

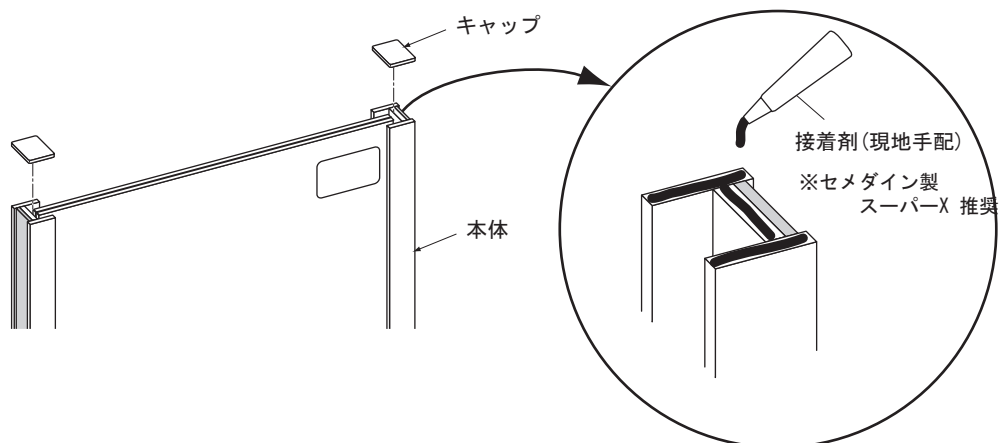


③シーリング

見えがかり(シーリングが付着する恐れがある所)に養生テープを貼り、シーリング材を注入します。



④下図の様に、本体の柱上部に、**接着剤をはみ出ないように** 塗布し、キャップを貼り付けます。



⑤シーリングの注入後、速やかに(硬化前に)養生テープを取り除いて下さい。

▲ 注意

シーリング後、強風等が吹く恐れがある場合は、
必要に応じてガラスが倒れない様に控えを設けてください。